



写真 125. 鶴御崎灯台



写真 126. 目指せ！九州最東端



写真 127. 到達！九州最東端

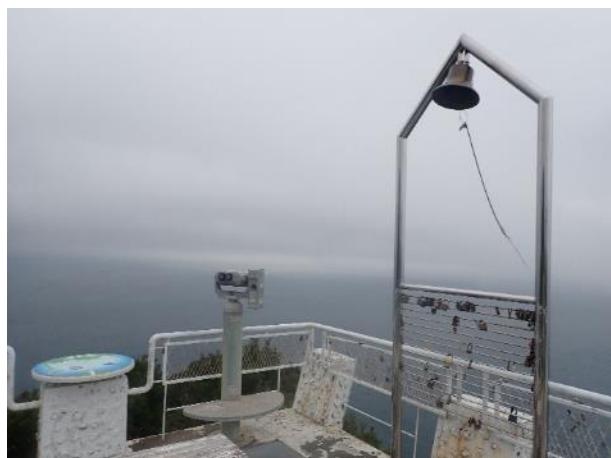


写真 128. ここにも、幸せの鐘と鍵はあるのね

遂に、九州最東端鶴御崎に到達。ここも、ご多分に漏れず、恋人達のための鐘と鍵を掛ける柵があります。この地名は、「崎」なのか？「崎」なのか？各地でよくある混乱話。ここも、両方の記載があってよく分からない。とりあえず、「崎」で統一しておく。灯台だけが、鶴御崎なのかな？よく分かりませーん。



写真 129. ここでは、「鶴御崎」



写真 130. ここでも、「鶴御崎」

岬からの展望は、まだ雲や靄が残っていて、あまり良くなかったが、もう雨はなさそうである。この岬には、ゆるキャラ「さいとうたん」がいます。半島のシルエット型の真っ黒な奴！



写真 131. 最東端の展望と真っ黒な「さいとうたん」

鶴御崎を後にして、米水津（よのうづ）から、豊後黒潮ラインを走る。九州北東岸はリアス式海岸なので、海岸線まで山が迫っている。走っていてもアップダウンが多い。少し走ると「空の展望所」に着いた。映画「釣りバカ日誌 19」のロケ地だと看板が出ている。天気が芳しくないせいか、景色もそれほど感動するほどのもではなかった。



写真 132. 空の展望所



写真 133. 空の展望？



写真 134. アサギマダラ休憩所



写真 135. 背景を画像処理しました

「空の展望所」の先に「空の公園」があり、その手前の路地を入っていくと、「アサギマダラ休憩所」があり、渡りの季節には、アサギマダラが飛来するらしい。普段はまだ巨大なアサギマダラの看板が立っているだけで、他に何もない。

その先の「空の公園」も駐車場が有り、海側に展望所もあった。例によって、幸せの鐘と鍵を掛ける柵があった。

引き続き豊後黒潮ラインを進むと蒲江（かまえ）の尾浦漁港で行き止まりとなり、その先の海岸線の道は通行止めとなっていたので、尾浦トンネルを抜けて国道 388 号に出た。



写真 136. 「空の公園」の幸せの鐘と鍵



写真 137. 海岸線の道は通行止め

国道 388 号沿いの道の駅「かまえ」に入って、昼食とする。田舎の道の駅なのに食堂は「Buri Laboratory」と名前だけはおしゃれであった。ここで、本日のお勧め定食を注文。「ハマチ天丼とキュウセンベラの煮付け定食」1,680 円で、コーヒーや漬物はおかわり自由。当初予定していたお店が予約必須のお店なのを昨日気づいて、急遽変更したが、大満足のお店だった。



写真 138. 道の駅「かまえ」



写真 139. 本日のお勧め定食

国道 388 号を、丸市尾浦湾を過ぎたところで、海岸線を行く県道 122 号へと右折する。この道は、「やすらぎの道」という整備された海岸線を走る道だ。波当津海岸を通るときは、引き潮で波紋の付いた砂浜がきれいだった。

その後、宮崎県との県境の山を抜けてから、横島展望台に繋がる脇道に入った。茂みの中で細くて苔むすなかなか走りにくい道だった。横島展望台は、駐車スペースや芝生エリアなど小さいながらに整備されていた。ただ天気が曇りなので、海の色も元来のエメラルドブルーではなく沈んだ色、遠景も霧で見えず、残念であった。快晴の時に来てこそ価値のある展望台である。写真だけ撮って、すぐに県道 122 号に戻り、海岸線を先に進んだ。



写真 140. 「やすらぎの道」を進む



写真 141. 波紋がきれいな波当津海岸



写真 142. 横島展望台に行く肠道



写真 143. 横島展望台

天候は徐々に回復していて、時折日が差すようになった。それとともに、気温も上がってきた。  
県道 122 号を進むと、左にオレンジ色の鳥居、右側にオレンジ色の社殿が見えた。このオレンジの神社は直海（なおみ）神社と言うらしい。そんなに有名な神社ではなさそう。



写真 144. 海に向かってオレンジの鳥居が立つ



写真 145. 直海神社

しばらく行くと県道 122 号は再び、国道 388 号にぶつかるので、そこからは浦城町まで国道を進む。浦城町からは、県道 212 号で海岸線を進む。

県道 212 号に入ってすぐに、猿の群れが、前を横断。急いで写真を撮ったが最後の 1 匹だけ写っていた。東海町の湊神社の入り口にバイクを停めて、徒步で階段を降りていく。崖を降りると流木だらけの海岸に出る。



写真 146. 猿の群れが横断



写真 147. 流木だらけの海岸

海岸を少し歩くと、右手に東海灯台、左手に湊神社が見えてくる。湊神社は海岸に水色の鳥居が並び、後ろに社殿がある、異様な光景で人気のある神社だが、県道沿いに車を停めるところが少しふかく不便なところ。こう言う所は、バイクだと簡単に停められていいですねー。



写真 148. 東海灯台と湊神社



写真 149. 水色の湊神社



写真 150. 国道 10 号と 388 号の共用区間



写真 151. 南国宮崎らしくなってきた

湊神社を過ぎて県道 212 号は、再度国道 388 と合流、その後国道 388 号は国道 10 号との共用区間となり、延岡市内に入していく。延岡は、通過して日向市に入ってすぐに県道 15 号を使って、日向岬へと向かう。

岬の駐車場にバイクを止めて、馬ヶ背遊歩道を徒步で進む。少し行くと馬ヶ背展望所があり、足下がガラス張りの「スケルッチャ」になっているが、恐怖を感じる程の高さではなかった。ここから、細い遊歩道を進み、日向岬展望台まで行く。



写真 152. 馬ヶ背遊歩道入り口



写真 153. 馬ヶ背展望所



写真 154. スケルッチャを覗く



写真 155. 日向岬展望台への道

日向岬には、過去何度か来ているが、来る度に少しづつ設備が変わっている。ここは日本一の柱状節理を謳っている所なので、リアス式海岸の岸壁や向かいの小島まで柱状節理で出来ている。



写真 156. 柱状節理の崖

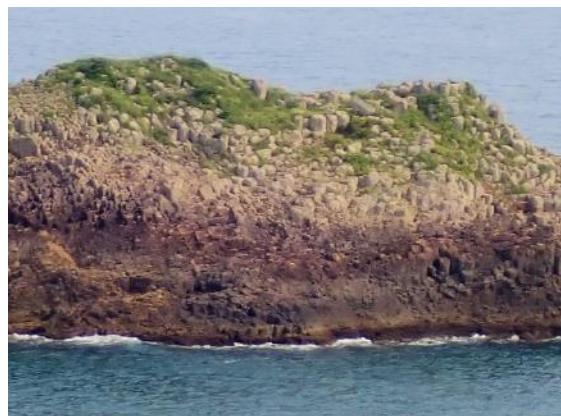


写真 157. 柱状節理の小島

展望台の帰りに、細島灯台を回って降りてくるのがコースとなっている。特徴のある灯台ではないが、端正な形をしている。灯台からは、木々の間の遊歩道を、茶屋のある駐車場まで降りていく。



写真 158. 細島灯台



写真 159. 1941 年に改修されたらしい



写真 160. 木々の中を抜ける遊歩道



写真 161. やはり日向岬では日向夏ドリンクだ！

茶屋では、日向夏ドリンクを買って、日向気分に浸って水分補給。愛想の良い三毛猫が、寄ってきてお尻トントンさせてくれた。茶屋の人に聞くと、捨て猫が増えたのをボランティアの人が当番で面倒を見に来ているそうだ。茶屋の人は、ちょっと迷惑そうだった。



写真 162. 右耳カットの雄のサクラ猫



写真 163. 人なつっこい猫さんだつた

茶屋からバイクで少し下ったところに、テレビで良く紹介される観光スポット「願いが叶うクルスの海」がある。駐車場にバイクを止めて見学した。自然の浸食で入り江が「叶う」と言う文字に見えるというスポットだが、ドローンを使って上から見ないと、なかなか「叶」には見えないかな。「願いが叶う鐘」に旅の成功を願ってきた。

祈願の効果か、直後にアナグマが前を横切って行くハプニングが起きた。



写真 164. クルスの説明



写真 165. これが、「願いが叶うクルス」



写真 166. 願いが叶う鐘



写真 167. アナグマ君登場

そのあとは、日向市内のホテルまで直行した。バイクも屋根がある所に停めさせてくれた。



写真 168. 日向第一ホテル



写真 169. 屋根のある駐輪スペース

ホテルにチェックインした後、シャワーを浴びて着替えて、外に食事に出た。何気ない公園に SL が展示してあつたり、市役所はレインボーにライトアップしてあつたり、なんか面白い町。



写真 170. SL がある公園



写真 171. ライトアップしている市役所

すぐ近くの目星を付けておいた定食屋「みのる's キッチン」に行った。小さなお店だが、地元の人と出張のサラリーマン風な人々で混んでいた。時間が掛かると言われたので、先に生ビールを頼んだ。サービスでマカロニサラダを出してくれた。

オーダーは、チキン南蛮カレー。暑いときには、カレーが一番。鶏で有名な宮崎のチキン南蛮も美味しかった。全部で 1,800 円。満足して、コンビニで朝ご飯のパンとジュースを買って宿に戻った。



写真 172. お通しとビール



写真 173. チキン南蛮カレー

次ページ (05\_1) [https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025\\_Kyushu/2025\\_kyushu\\_05\\_1.pdf](https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025_Kyushu/2025_kyushu_05_1.pdf)